

みどりと天空のパラダイム

尾根緑道を歩こう!!

町田市

小山・小山ヶ丘・小山田地区

観光エリアマップ



多摩丘陵の分水嶺となる尾根緑道は、緑に囲まれた散歩道、景色を楽しみながら、天空を歩いているみたい！
緑道は西側は緑の道が通り、鍾水商人ゆかりの地。東側には古代ハスで有名な大賀一郎博士の功績にちなんだ大賀藕絲館があり、その北部には都立小山田緑地があります。尾根から少し下り、小山・小山ヶ丘地区の多摩境通りや町田街道を歩くと、縄文遺跡や奈良・平安の遺構にも出逢えます。この地区には、新住民やお店も多く、昔と今が交互に顔を出す地域となっています。小山田地区は、中世を生きた小山田一族の歴史が感じられます。

町田市観光コンベンション協会



尾根緑道へは小山内裏公園側(小山地区)と大賀藕絲館側(小山田地区)から入るルートがあります

■小山田地区へは

バス 町田バスセンターから所要約30分
町田バスセンター 13番のりば 町30系統 常盤・根岸経由橋本駅北口行 町60系統 多摩境駅経由橋本駅北口行

電車 JR横浜線 橋本 京王相模原線 小山田緑地 多摩境 徒歩 15分 2分

■小山田地区へは

バス 町田バスセンターから所要約20分
町田バスセンター 3番のりば 町32、町34系統 堀川経由または市民病院経由小山田緑地行 町38、町39系統 市立内浦線経由 野津田車庫行 町27系統 小山田行 町31系統 多摩丘陵病院行

JR淵野辺駅北口 2番のりば 淵21系統 はなみずきの丘行

電車 JR横浜線 町田 淵野辺 徒歩またはバス 6分 ※所要時間は交通事情等により異なります。

発行 2020年9月
発行者 一般社団法人町田市観光コンベンション協会
東京都知事登録旅行業 第3-6207号
〒194-0013 東京都町田市原町田4-10-20 ぽっぽ町田1階
ホームページ <https://www.machida-guide.or.jp>
Eメール info@machida-guide.or.jp
電話 042-850-9311 (町田ツーリストギャラリー)
協力 都立小山内裏公園、都立小山田緑地、長池公園、まちだテラパーク、アサヒ商売会、サレジオ高専、まちだ観光案内
地図調製・印刷 (株) 中央ジオマックス

今と昔のコラレーション

小山・小山田 ゆかりの人々

小山田の名は、山合いで湧水を利用した谷戸田にあると言われ、縄文時代から人が進んでいた。小山田の庄の誕生は、平安時代の頃と古い。承安元年(1171)に小山田有重が別当として兼任して、小山田氏の統治が始まりますが、戦国時代へ入る。その歴史は武蔵と悲劇が交差し、やがて滅亡します。

小山田城の主-小山田有重
有重(山田)は桓武平氏の秩父一族。承安元年(1171)に別当として小山田庄に兼任、「小山田」姓を名ります。居城は大泉寺の裏山あたりに築き、ここを拠点に領地を拡大、支配地は、ほぼ町田全域(横山庄を除く)に及びます。4人の息子たちは小野路、岡崎、稲毛(川崎)、横谷(保土ヶ谷)にそれぞれに城を築きます。親子と子どもも頼朝の信任が厚く、鎌倉の御家人として活躍しますが、頼朝の死後、北条氏の策謀で一族は離散。小山田城も転々と主をえ文明8年(1476)の長尾景春の乱でついには落城、消滅してしまいます。

戦国の武将-小山田太郎有重
武蔵七虎の「横山虎」の一族を率いた武将。小山に居を構えて小山姓を名をる。源頼朝の側近のひとりで、頼朝の死後、執権北条氏と争う和田義盛に味方、建暦3年(1213)の和田合戦で敗れ、横山虎の一族とともに討死。小山の御城堂近くにある城址は、太郎有重の居城と伝わっています。

幕末の絵師-島崎日良
江戸時代の狩野派の絵師。明和3年(1766)相模国中野村生まれ、20歳で市山の島崎家に移り、八王子千人同心の職を継ぐ。狩野派絵師 満心美信に学び、浅草寺の天井画を描く。宝泉寺にある「十六羅漢図」(十六歳)は30歳のときに描いた羅漢図。町田市の指定有形文化財ですが、非公開。

江戸の国学者-小山田与清
江戸時代後期の国学者。天明3年(1783)、上小山田村生まれ、江戸で村田春海に国学を学び、豪商高田家の養子に。蔵書は2万巻とされ、商売のかたわら読書と著作にはげむ。孫に高田家を継がせて引退、姓も小山田に戻します。晩年は徳川斉昭に招かれ戸家の編纂事業に関わります。36歳の頃、小山田に里帰り、その旅は「筑井紀行」に記録されています。高田早苗早稲田大学総長は与清のひ孫。大泉寺境内には記念碑があります。

近藤勇の義父-近藤周助
剣術天然理心流3代目宗家、新撰組・近藤勇の義父。寛政4年(1792)に小山の名主嶋崎徳衛門の5男として出生。剣術2代目宗家・近藤三助に弟子入り、38歳で宗家を継ぎます。嘉永2年(1849)、後に新撰組隊長となる近藤勇を養子に迎えます。小山には息も多く、近藤勇や土方歳三を伴って剣術の出稽古にやってきましたということ。

町田を書き続けた作家-薄井 清
農民文学作家。昭和5年(1930)忠生村生まれ、都農農業改良委員のかたわら執筆活動。26歳のとき「黙阿弥」で第1回日本農民文学賞を受賞。その後には遺稿、農業をしながら小説、評論を書く。「あの鳥を撃て」「都が土を喰べる」など。市文化財保護審議会会長も務め平成19年(2007)死去。下小山田の墓地に「農民文学作家 薄井清之碑」が建てられています。

～長池に伝わる～浄瑠璃伝説
浄瑠璃伝説は、鎌倉時代の末期、相模国岡崎から小山田城の当主小山田高田に嫁いできたお姫さまのことで、小山田に嫁して間もなく夫の高田は主君の新田貢貢のお供で上京します。その京路では足利尊氏との戦いを巻き込み、奥川の合戦で、貢貢をかばって身代わりで戦死してしまいます。悲劇は足利尊氏の死にさられる城の浄瑠璃伝説のもとに、姫はわずかな侍と共に、持馬の御前様から逃げて逃げます。帰郷途中、あてどもない森に迷い込んでいた。鍾木林の中であつて目にしたのが大きな池。次の瞬間、姫の姿は池の中に消えてしまったのです。この池は別所の「長池」でした。しばらく経て通生寺のお坊さんが池に浮かんでいる木の道徳像を拾い上げ、寺にお祀り、いまも人々の信仰をあつめています。 ～「長池伝説」(南地道子著、フュージョン長池刊)より

自然いっぱい尾根道へいらっしやい

尾根緑道とは

戦車のテストコースでした

東の大賀藕絲館、リサイクル文化センターから西は鍾水(八王子)まで、約9kmに及ぶ長い距離を尾根緑道といえます。太平洋戦争の頃、相模陸軍造兵廠で修理をした戦車を試験走行した道だったことから今も「戦車道路」と呼ばれ人もいます。米軍が接収し、米軍戦車が試運転したところもあったそうです。戦後は赤土の切り通しのままでしたが、昭和51年(1976)町田市が国から借りて、市民に四季折々の景観を楽しむでもらうと整備し、昭和59年(1984)以降現在の遊歩道の形になりました。特に富士山や丹沢の山並みと春の桜、秋の紅葉と並んで自然に接することのできる絶好の散策路です。

富士も望める尾根の道

尾根緑道は、多摩丘陵地帯の一番南に位置しています。標高120～150m位の尾根筋で、見晴らしが良く、東京スライツリーも見ることが出来ます。南西側は相模原市のミル群の向こうに、丹沢の山並みが屏風絵のようなパノラマで望むことができ、大山、塔の岳、丹沢山、蛭が岳などの上に、富士山の頂上部分がこちらを覗き込んでくまっています。展望広場などの名称で休憩所にもなっている絶景スポットが数箇所あります。種入バス停から西、南多摩斎場あたりから北側は八王子市と隣接し、町田市との境界線上の道です。この辺りになると完全に遊歩道のみとなり、京王線多摩駅駅付近にさしかかると、都立小山内裏公園になります。鍾水付近では、網の道、鮎の道などとも結ばれます。

370本の桜のトンネル

平成4年(1992)の第1回開催以来「町田さくらまつり」のメイン会場のひとつです。早咲きから遅咲きまで約370本の桜が植えてあり、大賀藕絲館から西の種入バス停の間いろいろな桜のお花見が楽しめます。珍しいイカタオザクラも植栽されています。南多摩斎場からはソメイヨシノだけではなく、ヤマザクラも多く見受けられます。

ノウサキに出会えるかも

南多摩斎場から西は林間の遊歩道となり、木々や草花などの植物も豊富になります。また鳥類や小動物も多いのも魅力的。ノウサキ、タヌキ、ハクビシンなどが姿を見たり、ウグイス、ジョウケイ、ガビチョウなどの鳥の鳴き声もときどき。タヌキはほしと似たような姿ではなかいかお目にかかれぬ珍しい昆虫も生息しています。

いにしへの古道

●網の道(八王子市)

尾根緑道の西のはずれ、八王子市の鍾水と接するところは「網の道」ともつながっています。幕末から明治にかけて甲州、八王子などの生糸や絹を横浜に運んだ道です。しかしその繁栄は、交通機関の発達に伴い急速に消えていきました。いまも当時の「鍾水商人」の遺跡が残っています。鍾水にある「網の道資料館」も豪商の屋敷跡に建てています。

●鮎の道(町田市、八王子市)

その名の通り魚の「鮎」を運んだ道です。小山内裏公園の西のはずれを通過して、道志川や相模川の鮎を早く江戸に運ぶための道でした。この道は津久井往還ともいい、鶴川、登戸、三軒茶屋を経由していました。

●よこやまの道(多摩市、八王子市、川崎市)

尾根緑道のはるか北側に、よこやまの道、防人(さきもち)の道があります。奈良時代には国防のために東国各地から防人(兵士)たちが府中の武蔵国府に集められ、福岡・大宰府などに送られました。この多摩丘陵の見晴らしの良いところ、ふるさとを愛する家族との別れを惜しんだといえます。万葉集にも多摩のよこやまをよんだ歌が残されています。「赤駒を山野に放し捕りかて多摩のよこやま歩歩ゆかぢらむ」。府中の国府から南方の多摩丘陵を見ると、横に長くなり、肩のうしろに見えるとも記されています。

大賀藕絲館

尾根緑道入口脇にある正倉院風の建物。印象的、障がい児たちの通所施設として、昭和55年(1980)より大賀ハスと紅花の栽培から製品作りを行っています。染め、織りの体験や産の実を使ったお菓子、お手玉やコースター、ドライフラワーなどの工芸品の販売もしています。毎年初夏に紅花まつり、通まつりが開催されます。

下小山田町3267 ☎042-797-1616
町田バスセンターから町38、町39系統で「尾根緑道入口」下車徒歩3分 または「桜美林学園」下車徒歩7分

町田市考古資料室

この資料室では市内の遺跡で発掘された土器や石器などの考古資料を収蔵・保管し、一部公開しています。市内には都内有数の質と数を誇る縄文時代の土器や土偶などが残されており、そのうち約200点を展示しています。

下小山田町4016 ☎042-797-9661(開室時のみ)
町田バスセンターから町38、町39系統で「市立内浦線」下車徒歩10分
開室時間/10:00～16:00 料金/無料 開室日/毎月第2・4土・日・祝・祭日(年末年始を除く)※7・8月は全ての土・日・祝・祭日閉室
資料提供:町田市教育委員会

緑豊かな公園・谷戸めぐり

都立小山内裏公園

小山内裏公園は、多摩丘陵地帯(東京20区10個分)の広さをあつた公園です。天皇の住まいを「内裏」と言いますが、この公園付近は昔御所に仕えていた人々が移り住んだことからそう呼ばれているという説があります。人の暮らしで賑わう住宅地の海に、ひっそり浮かんだ「緑の宝島」。そんな形容が良く似合うこの公園には、雑木林の豊かな緑と自然の湧水に恵まれた、貴重で素敵な自然環境が残されていて、四季を通じてたくさんの植物、鳥、虫との楽しい出会いがあります。園内をゆっくり散策し、自然の楽しさ、大切さ、素晴らしさを知ってください。

小山ヶ丘4-4 ☎042-676-8865 (小山内裏公園パークセンター)
26台(無料) 京王相模原線多摩境駅下車徒歩8分
<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index064.html>

●大田切池

この池は大田川の源流にあたり「大田川が切れているところ」という意味を持っています。また、この池は人呼んで「東京の高地地」結れた木立はもととは川岸にあったもので、池ができたことで結れた木立となり、印象的な景観を作っています。大田切池周辺はサンクチュアリ地区に設定され、貴重な動植物の宝庫となっています。

●パークセンター(管理事務所)

公園での各種イベントの拠点にはなる施設で、様々な講習も行われています。館内ではイベント情報といったインフォメーションの他、園内で見られる動植物の写真・パネル・標本なども展示され、図書やビデオなどの設備もあります。ウッドデッキではゆっくり休むこともできます。園内にはバーベキュー施設やドッグラン(どちらも登録制)もあります。

●すべり台

多目的広場には斜面に3本の大きなすべり台があります。子ども達に人気の遊具で、土・日・祭日には賑やかな声が聞こえます。

片所谷戸

多摩境通りと町田街道に挟まれた大型店や住宅地の中にある面積約4haの谷戸。地元団体「小山のホタルと自然を守る会」の努力により、塘川へと続く小川にはゲンジボタルが多くみられます。また、ホシザクラの群生地もあります。ホシザクラは平成15年(2003)多摩丘陵で発見された新種で、ガクが深紅色できれいな星形をしていることからそう呼ばれます。ほかに絶滅危惧種のホトケドジョウや国蝶のオオムラサキ、オオタカなどの生息が確認されています。

都立小山田緑地

小山田緑地は町田市の北西部、多摩ニュータウンに隣接する緑豊かな丘陵地であり、現在は都市計画面積146haの一部、42.9haを開園しています。本園のほかは山中・大久保・梅木窪の3つの分園があります。公園内は雑木林や草地の丘、畑や谷戸の田んぼの眺めなど、豊かな自然や失われてゆく多摩丘陵の懐かしい風景に出会うことができます。散策や軽スポーツ、自然観察、周辺の見所と結んだハイキングや遠足などに適しています。そしてそこにはたくさんの生き物たちのにぎわいがあります。のんびり園地を散策しながら、足元の自然に目を向けてみませんか。

下小山田町3611-10 ☎042-797-8968 (小山田緑地サードセンター)
80台(無料) 町田バスセンターから町27系統で「大泉寺」または町31系統で「長池」下車徒歩8分
<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index063.html>

●みはらし広場

標高123mに位置し、その名のとおり丹沢から多摩丘陵、富士山の頭を見ることが出来ます。平成16年(2004)国土交通省「関東富士見100景」の一つに選ばれています。毎年5月にはNPO 鶴見川源流ネットワークとの共催のイベント「鶴見川源流祭」の会場となり、多くの人でにぎわいます。

●トンボ池

大久保分園の中にある丘陵からのわき水で作られた池。木道が池の真ん中まで通っているのので周辺の水辺の生き物を観察することができます。初夏になるといろいろな種類のトンボが産卵にきます。

●つり橋

杉木立や雑木林を通り、うさぎ谷と呼ばれる谷戸にさしかかるところにある、梅木窪分園と本園とを結ぶ橋で50mの長さがあります。

八王子市立長池公園

長池公園は、豊かな自然と昔ながらの里山景観の保全を目的に整備された自然保全型の公園です。面積約20haの園内には広大な雑木林、長池・築池の二つのため池、田んぼや湿地など変化に富んだ自然環境が残されており、多種多様な動植物が生息しています。一方で、公園のエントランスにはネオバロック様式の長池見附橋と、新たにデザインされた人工の築池があり、これらの調和が都市における人と自然の新しい共生の形を象徴しています。また各種体験・イベントといった催しも盛んに行われ、地域住民の憩いの場としても親しまれています。

八王子市別所2-58 ☎042-678-4616 (長池公園自然館) ☎70台(無料)
京王相模原線大沢駅下車徒歩22分または京王堀之内駅下車徒歩30分
<https://www.h-yugi.or.jp/nagakepark>

●長池公園自然館

里山に関する常設の展示室や企画展示室、工作や工芸のための工房、講演会等が行えるレクチャーホール、会議室等を備えた体験学習施設です。公園管理の拠点であるとともに、散策の休憩場所としても気軽に利用できます。

●長池見附橋

新宿区四谷の地で75年間使用されてきた四谷見附橋を移設再建した橋です。現在は長池公園の豊かな緑の背景に、地域シンボルとして生まれ変わっています。橋を水面に映し出す姿とのコラボレーションも見どころです。

●長池と築池

常に湧水を貯える長池は江戸時代以前から水溜りとして大切にされてきました。また、灌漑用に造られた築池は6600㎡もの広さを誇ります。これらの豊富な水環境はカワセミなど多くの生物にとってのオアシスとなっています。

ブルーベリーの摘み取り体験

市内農家が運営するブルーベリー園で、6月下旬～8月下旬の間、ブルーベリーの摘み取りができます。完全した葉でも甘く、皮までの中ですつとけるほど、里山の中でのびのびと、新鮮な果の摘み取りと自然との触れ合いが楽しめます。

町田里山ベリー園 ☎042-797-3246
<https://sites.google.com/site/machidasatoyamaberrieyen/home>
小山田ブルーベリー園 ☎042-719-5486
<http://foyamada-blueberry.com/>
※摘み取り時期や料金は園により異なるため、事前にお問い合わせください。

神社・仏閣めぐり

大泉寺(補陀山)



本堂、山門、観音堂、開山堂などの伽藍配置が残る町田屈指の古刹。室町時代、無縁和尚が領主小山田氏の居館(小山田城)跡に開山しました。本尊は釈迦涅槃像。開山堂に置かれた無縁和尚坐像は都指定有形文化財に指定されています。元禄年間に再建された茅葺き日本堂は昭和45年(1970)に火災で焼け、翌年に鉄筋造りで再建されました。板木の参道は、その昔、馬廻りが行われ、町田の板名所としてにぎわっていました。本堂の裏手には小山田氏三才の領主の墓、その近くには国学者小山田与清による小山田城址碑があります。

下小山田町4000付延 ☎町田バスセンターから町27系統で「桜橋」下車徒歩5分

正山寺(野中山)

僧祐が元和元年(1615)に開山。本尊は阿弥陀如来。祐玄は武田信玄の小山田原侵入に加担したため、北条氏から小山田の下屋敷にあった寺を追われ、現地に移ったと伝えられています。もとは京都西本願寺末寺ですが、寛永3年(1686)に故あって東本願寺に転流、高台にあり、里山ののどかな風景が見渡せます。

上小山田町1504 ☎町田バスセンターから町27系統で「小山田」下車徒歩5分

多摩山神社

創建は不詳。祭神は天照大神。「前幹八幡宮記」によると、小山田義興の妻が妾に嫉妬して長池に入水自殺を図りますが、その恨みを鎮めるため村人が祀りかたとしてされています。周辺には大賀藕絲館で製品作りを行うためのハス田が大きく広がっています。

下小山田町4000付延 ☎町田バスセンターから町27系統で「桜橋」下車徒歩5分

前幹八幡宮

旧小山田領17郷の総鎮守。推古24年(616)勅令によって勧請、創建されました。祭神は応神天皇。康平5年(1062)源義家から前年の役での戦勝を祈願したものと伝わる古い神社です。

社殿は再々、火災で焼失。現存の本殿と隣身門(市文化財指定)は享保5年(1720)に建造されました。神社では珍しい梵鐘は昭和28年(1953)に氏子らが奉納した2代目です。毎年9月の例祭日には獅子舞が奉納されています。

矢部町2666 ☎R2淵野辺駅北口からバス30、36、37、17、町29系統で「矢部町駅」下車すぐ

本堂、山門、観音堂、開山堂などの伽藍配置が残る町田屈指の古刹。室町時代、無縁和尚が領主小山田氏の居館(小山田城)跡に開山しました。本尊は釈迦涅槃像。開山堂に置かれた無縁和尚坐像は都指定有形文化財に指定されています。元禄年間に再建された茅葺き日本堂は昭和45年(1970)に火災で焼け、翌年に鉄筋造りで再建されました。板木の参道は、その昔、馬廻りが行われ、町田の板名所としてにぎわっていました。本堂の裏手には小山田氏三才の領主の墓、その近くには国学者小山田与清による小山田城址碑があります。

福生寺(施弥山)

真言宗智山派。天福元年(1233)の創建で、本尊は不動木立像。観音堂の菩薩立像は都指定文化財。境内のモッコクと呼ばれる供養樹は、安政年間村に風邪が蔓延した際、寺の僧侶が死後にお茶を供えてと遺言して生きたまま墓穴に、それ以来村人たちはお茶を供えて風邪が治るよう願をかけるようになったといわれています。また、横土手を築いた萩原四郎兵衛(境川崎)の碑があります。

下小山田町362 ☎町田バスセンターから町30、町60系統で「市所」下車徒歩5分

宝泉寺(金龍山)

臨済宗長春寺派。延文4年(1359)に知平佐右衛門が開基したと伝わっています。本尊の釈迦牟尼仏(市指定文化財)は表情豊かな仏さま。町田では最古の銘文が刻まれており、現存伽藍の作と伝わっています。寺堂の「十六羅漢図」(同)は、小山に住んだ絵師崎島良作の作。境内のアカガシ、タラヨウの古木は町田の名木百選。

下小山田町362 ☎町田バスセンターから町30、町60系統で「市所」下車徒歩5分

日枝神社

地元神では「三日月の山王様」と呼ばれ、創建年代は不詳。主祭神は大蛇彦命、左右に金刀比羅大神、八坂大神が祀られています。市の無形文化財に指定されている「三日月囃子」は毎年秋の例祭に奉納されています。この「三日月囃子」は五穀豊穡を祈るお祭りで、江戸中期の享保年間から続く伝統行事です。

下小山田町3747 ☎町田バスセンターから町30、町60系統で「市所」下車徒歩5分

札次神社

祭神は武神の武甕槌命。創建時期は不明で、常陸国一宮の鹿島神社から奉遷、宝暦6年(1756)に再建の記録が残っています。もとは今の尾根緑道に建てていたのですが、明治40年(1907)に現在地に移転。津島八坂の二つの神社が合祀されました。鳥居脇の「雲梯石」は、養蚕の振興や子孫繁栄を願った祈願石。7月の例祭日には神社で「湯花の神事」が行われます。境内のヤマザクラ、シラカシは町田の名木百選。

小山ヶ丘3-17 ☎京王相模原線「多摩境」駅下車徒歩10分

御嶽神社

創建時期は不明。祭神は日本武尊です。寛文6年(1757)の検地のさい、御嶽社領として5ヶ所5合6分の餘地が与えられています。神社の宝として保管されている神社の棟札には「宝暦」の年号が読み取れるようです。

下小山田町1115 ☎町田バスセンターから町30、町60、町62系統で「横土手」下車徒歩5分

長泉寺(蒼龍山)

室町時代末期の永祿年間(1568-69)に臨空室堂和尚が開山した曹洞宗の寺。本尊は釈迦・薬師は8寸(約25cm)ほどの木生像で行基の作と伝えられています。山門の「龍」と「泉」は、水を連想させ、田の豊作を祈って建立されたようです。境内の2体のお地蔵さまは慶安年間(1644)に置かれ、いまも「子育て地蔵」として信仰をあつめています。

下小山田町1115 ☎町田バスセンターから町30、町60、町62系統で「横土手」下車徒歩5分

遺跡・祭事・イベント

●小山内裏公園とどろ焼き

地域に残る伝統文化の継承の一つ。昔からこの地域は農家が盛んで小正月にはどんどろ焼きの儀を組み、その夜に隣玉四子や焼き、無病息災を願う行事を公園でボランティア、地域の方言が協力して行っています。たまに焦がす勢いで紅蓮の炎が立ち上がる様は感動します。

●町田さくらまつり(尾根緑道)

尾根緑道はメイン会場の一つで、各地の名産品の屋台や、ステージイベントなどで盛り上がり。桜と鮮やかな菜の花畑の競演も美しい。

●大賀藕絲館 紅花まつり

●日枝神社例大祭(萬古鐘と三日月の祭り)

三日月地区は、三日月・久保ヶ谷・堂ヶ谷の3地区から成り、古くは三谷堂(さんくどう)と呼ばれ、歳時では7月1日のまんこりを皮切りに行われました。

●札次神社祭礼

大賀藕絲館 運まつり
運の花、運を用いた手工作りで温かみのある製品や運の美味おかわなどの販売や各種体験。当日限定でハス田まで、バス送迎もあります。

●御嶽神社祭礼

元龜・天正の頃(1570年代)から始められたと言われる、町田市指定無形民俗文化財の矢部八幡宮獅子舞が奉納されます。

●学園祭(サレジオ高専・桜美林大・多摩美大)

●「オビリン・クリスマス」(桜美林学園)
構内はクリスマスイルミネーションで彩られ、キャンドルライトサービス、コンサートなどが開催されます。



■ 尾根緑道		●km ●時間		■ おすすめウォークコース	
みどりやと天空のパラダイス、尾根緑道を歩く		9km・5時間		自然と歴史が響きあう小山田の里	
鎌水入口バス停→多摩美術大学裏→鎌水小山給水所 給水塔→都立小山内裏公園→かわら尾根瓦窯跡→南大沢給水所→小山長池トンネル上→南多摩斎場→種入バス停→谷戸池公園→大賀絹織館→尾根緑道入口バス停		10km・5時間		小山内裏公園と尾根緑道の自然を楽しむ	
		8km・5時間		歴史溢れる相原から小山を歩く	
				相原駅→清水寺→蚕種石→三ツ目山公園→久保ヶ谷戸横穴墓→日枝神社→宝泉寺→小山田端自然公園→田端環状横石遺構→小山白山公園→札次神社→多摩境駅	